令和７年度補正予算・令和８年度補正予算　重点支援地方交付金の活用状況について
福岡県豊前市

■実施状況　　＜令和８年８月時点＞

	令和７年度補正予算	令和８年度補正予算
交付限度額	3 億 0722 万円	1290 万円
うち令和７年度　交付決定額	2 億 7241 万円（89%）	—円（—%）
うち令和８年度　交付決定額	3481 万円（11%）	1290 万円（100%）
残額	0 円（0%）	0 円（0%）

■主な事業概要　※規模の大きい事業を最大５つ程度記載（詳細は別途実施計画をご覧ください）

生活者支援

◆物価高騰対策エール券事業　　事業費：２億３，９５３万円　（R7 補正を活用）　※食料品特別加算を活用

食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民の生活支援と市内事業者の消費活性化を図るため、全市民に１人１０，０００円の地域商品券であるエール券を配布する。

◆令和８年度小学校給食費無償化事業（R7 補正）　　事業費：６，８３７万円　（R7 補正を活用）　※食料品特別加算を活用

物価高騰の影響を受ける児童に対して、保護者の負担なく給食を提供する。なお、給食費負担軽減交付金による支援を踏まえ、県からの基準額に基づく支援額を超える部分に対して重点支援地方交付金を充当する。

1,036 人（6,000 円×1,036 人×11 か月）

◆学校給食費助成事業（小学校）　　事業費：３，３１３万円　（R7 補正を活用）　※食料品特別加算を活用

物価高騰の影響を受ける保護者に対して、給食費の全額（半年間）を負担し、給食費の支援をする。

1,058 人（5,000 円×807 人+5,300 円×28 人+6,000 円×223 人）×6 か月

◆令和８年度中学校給食費助成金（R7 補正）　　事業費：２，２４５万円　（R7 補正を活用）　※食料品特別加算を活用

物価高騰の影響を受ける保護者に対して、給食費の半額を負担し、給食費の支援をする。

583 人（7,000 円×583 人）×11 か月×1/2＋7,000 円×1 人×2 月×1/2

◆副食費助成事業　　事業費：１，５９０万円　（R7 補正を活用）　※食料品特別加算を活用

物価高騰の影響を受ける市内保育所等に通う児童の保護者に対して、副食費の全額を負担し支援をする。　4,800 円×276 人×12 か月

※事業費の全部又は一部に本交付金を充当予定